



なぎさ

小松市立安宅小学校 学校だより

NO. 16

令和4年1月14日

校長 広見 理恵

今年を漢字一文字で表すと



あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願いいたします。
冬休みを保護者の皆様・子どもたちはどのように過ごされたでしょうか。

三学期の始業式では、「今年を漢字一文字で表すと」の話をしました。先生方にアンケートを取り、一人一人の先生方が漢字一文字にどんな思いを込めてどの字を選んだかを子どもたちに紹介しました。

この話で子どもたちに伝えたかったことは二つです。一つ目は「目標の力」。人は目標やこうなりたいという願いをもつことで、成長できたり、自分を高めたり、生きる力につながることもある。だから今日の節目にぜひ一人一人が目標をもってほしい、という思いです。

二つ目は「言葉の力」です。人は書いたり、話したり、たくさんの言葉を使っています。人を幸せにできるのも言葉なら、人を傷つけるのも言葉。どうか、自分から発する「言葉」を大切にできる子になってほしい、という思いを伝えました。

私は今年を漢字一文字に「伝」を選びました。子どもたちには、自分の思いを自分の言葉で伝えられる人になってほしい、そして、伝えたり伝わったりすること＝「伝え合うこと」の素晴らしさを実感してほしいと思っています。伝え合うことで人は共に生きていく良さを感じることができるのではないのでしょうか。

そして「今、私が伝えたいことは、299人のみんな一人一人が、かけがえのない大切な存在であること」と子どもたちに話しました。

心は見えないものだからこそ、伝え合う意義を実感してほしいと願っています。
今年度も宜しくお願いいたします。



始業式で紹介した、先生方の今年を「漢字一文字」です。どの先生が、どの漢字を、どんな思いを込めて選んだかを一人ずつ紹介し、目標の力と言葉の力について伝えました。やはり選んだ字というのは、その人らしさが現れるものですね。
さて、安宅っ子たちは、どんな目標を立てたのでしょうか。

字は心を表す

1月11日の始業式の後、書き初めを行いました。どの子も真剣に字と向き合っていました。字は性格や心を表すものだと思います。元気な字、のびのびとした字、きちんとした字、勢いのある字、優しい字、集中している字・・・今年も字から見える一人一人の良さを伸ばしていきたいですね。



あったか集会

12月にあったか集会（児童集会）が行われ、運営委員が中心となり、企画・運営を行いました。内容としては ①各クラスのよさ ②安宅っ子のよさをそれぞれ紹介し合い、③あったか先生クイズも盛り上がり、学年を超えた互いの良さを実感する会となりました。



一〜六年の全学級の代表が、自分のクラスのよさを発表しました。



学年を超えた友達のよさを見つけ、それを伝え合うことができました。



自学表彰

二学期までに自学ノートが5冊以上終了した児童の表彰式を、12月に行いました。今年は昨年より5冊以上終了児童の数が増加し、自分で学習を進める児童が増えていることを嬉しく思いました。この他、読書数の多かった児童の表彰式も行いました。